



1玉ずつの検査を経て、初出荷されるアサヒメロン

アサヒメロン初出荷 見た目も味も自信

安 平

【安平】町内追分地区特産のアサヒメロンの出荷が9日、始まった。初日は生産者3戸が赤肉でまろやかな口ざが特長のルビアレックド25箱(1箱8玉、4玉8玉)を町内の集出荷場に運び込んだ。昨年より1日早い初出荷で10日には札幌市中央卸売市場で初競りにか

けられる。

追分アサヒメロン組合の佐藤信一組合長(56)によると、今年は2～3月の気温変動が激しく、温度管理に苦労した農家が多かったという。22箱を出荷した「又哲雄さん(79)は「ビニールシートの枚数を変えたり、ボイラーでの加温の仕方な

どを工夫したりした」と話した。

同組合は糖度14度以上のものだけをアサヒメロンとして出荷。この日運び込まれたメロンは15～16度で、佐藤組合長は「ネット(網目)の張り方も細かく糖度

も十分。品質がいい」と自信を見せた。

同組合は今年、26戸が計30畝を作付けし、生産量504トン、生産高2億5千万円を目指す。出荷は10月下旬まで続く見込み。

(水島久美)